

金浦小学校 学校だより

平成29年 9月13日

○ 平成29年度「全国学力・学習状況調査結果」について

1 全国学力・学習状況調査について

(1) 主旨

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査内容

① 教科に関する調査

- ・国語 A (主として「知識」に関する問題)
- ・国語 B (主として「活用」に関する問題)
- ・算数 A (主として「知識」に関する問題)
- ・算数 B (主として「活用」に関する問題)

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童が92項目の質問に選択肢で答える。

(3) 調査日等

調査日・・・平成29年4月18日(火)

対象・・・金浦小学校6年生児童 34名

2 教科に関する調査の結果

国語 A (知識)・・・全国平均をかなり上回っている

国語 B (活用)・・・全国平均をやや下回っている

算数 A (知識)・・・全国平均をやや上回っている

算数 B (活用)・・・全国平均をかなり下回っている

国語では「目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む」「目的や意図に応じて、文章全体の構成を考え必要な内容を整理して書く」、算数では「小数の乗法の計算において、乗法の性質を理解している」「重さや長さにおける任意単位の測定について理解している」「示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる」などに課題があることが分かりました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果

「友達の話や意見を最後まで聞く」「授業中、ノートにめあてやまとめをきちんと書く」「学校の宿題をきちんとする」「きまりを守る」などの項目で良好な結果が見られました。反面、「自分の考えをもち、友達の前で発表する」「ものごとを最後までやり遂げる」「難しいことでも恐れなくて挑戦する」「毎日新聞を読む」などの質問項目での数値が全国平均に比べ低い結果となりました。また「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標がある」など、自尊心や自己肯定感に係る内容も若干低い結果となりました。家庭生活に係る質問項目でも「朝食を毎日食べている」割合が昨年度より減少したり、「平日のメディア時間が3時間以上」の割合が全国平均を上回るなど、今後改善を要する結果となりました。

○ 学力向上に向けた今後の取組とお願い

1 金浦小学校の取組

学校では学力向上に向けて、今後も以下のようなことを中心に計画的に取り組んでいきたいと考えています。

- ・授業前に学習用具を整える、授業中は姿勢を正す、挙手して発表するなど、学習規律の徹底を今後も継続的に指導していきます。
- ・朝学習の時間に漢字や計算、単元到達度テスト、過去の学力テスト問題等に計画的に取り組ませたり、単元内に小テストを実施したりして、基礎的、基本的な知識の確実な定着を図っていきます。
- ・授業の中では、ICT 機器を効果的に活用し、「楽しくわかる授業」の構築に努めていくと共に、授業の中で自分の考えを書く活動の時間を確保していくようにします。また、話し合い活動を活性化していくために、ペア学習やグループ学習を意図的に取り入れ自信を持って話し合い活動に参加できるようにしていきます。
- ・「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習にきちんと取り組む態度の育成を図るとともに、自主的に予習・復習にも積極的に取り組むように指導を重ねていきます。
- ・金浦中学校のテスト期間中に合わせて、昨年度から行っている「家庭学習強化週間」を継続的に行い、家庭学習の習慣化を図っていきます。

2 保護者の皆様へのお願い

- ・早寝、早起き、朝ごはんなどの基本的な生活習慣を身につけることが、学力向上に大きく影響すると考えます。テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を少なくすること等、ご家庭でもお子様と話し合いの機会を持ってください。(ルール作り)
- ・家庭学習は、ほぼ全員提出できていますが、ていねいに書いていなかったり、多くの間違いがあったりします。保護者の皆様の点検や励ましがとても大切です。
- ・学校では、年度始めに各学年に応じた持ち物や「家庭学習の手引き」を示させていただきました。今一度ご確認下さり、学校と家庭が連携し共通理解のもとに子ども達の学力向上を図っていきたくて考えておりますので、よろしくお願いいたします。

学力向上並びに、よりよい金浦小学校にするため、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

